

第1回（令和3年7月9日）

- 事務局から、毎月勤労統計調査の概要及びこれまでの経緯について説明
- ワーキンググループの進め方について、まずは、ベンチマーク更新の方法を中心に検討し、その後、更なる課題を検討することを確認
- 次回のベンチマーク更新にあたり、ベンチマークの候補となる統計、データの課題を事務局から説明
⇒ 推計と実績の乖離を早期に是正するために、「令和3年経済センサス－活動調査」の公表を待つことなく、次回のベンチマーク更新は令和4年1月に行うこととし、第2回で試算結果をもとに議論を行うことを確認

第2回（令和3年8月26日）

- 事務局から、ベンチマーク更新の検討に当たって、以下を提示して議論
 - 令和元年年次フレームのデータ更新状況
 - 平成28年経済センサス－活動調査を用いる場合の公営事業所の推計方法の案
 - ベンチマーク更新を行った場合の影響の試算

第3回（令和3年11月5日）

- 事務局から、ベンチマーク更新の検討に当たって、追加の資料を提示。
- 令和4年1月に行うベンチマーク更新については、「平成28年経済センサス－活動調査」を用いることとし、公営事業所の労働者数については、平成26年から令和元年の公営事業所数の増減率等を用いて推計する方針を確認

第4回（令和3年12月17日）

- これまでの議論を取りまとめた報告案について、厚生労働統計の整備に関する検討会に報告することを確認

第5回（令和4年7月22日）

- 事務局から、令和4年1月のベンチマーク更新の対応及び影響について報告
- 毎月勤労統計調査の推計方法について、検討すべき論点、進め方について議論
⇒ 母集団労働者数の推計方法について、雇用保険データによる補正及び事業所規模の変更による補正による影響の検証を行い、対応を検討していくことを確認

第6回（令和4年12月9日）

- 季節調整法について、検証すべき内容、進め方について議論
⇒ 現行のX-11による移動平均パートのみを適用した場合と、REGARIMAによる事前調整を行った上でX-11による移動平均パートを適用した場合での季節調整値の変化、安定性が向上するかどうかを検証し、REGARIMAによる事前調整を行い季節調整値を作成することを検討していくことを確認